



神奈川県議会議員

わき 藤沢れい子

【議会報告】

立憲民主党・民権クラブ 県議団

だれひとり
とり残さない

ともに生きる神奈川へ

議会報告2022年7月号

藤沢・神奈川の未来に質問！ —第2回定例会報告—

6月23日に、会派の一員として、一般質問を行いました。質問は7項目。
うち藤沢市内にある県立施設に関連した2項目について、質問・答弁の趣旨を報告します。

重症心身障がい児者のための 短期入所事業について

対応の遅さを指摘

在宅で暮らす重症心身障がい児者を支える
家族の視点も忘れることなく、実効性
ある取組を迅速に

藤沢市にある県立総合療育相談センターでは、重症心身障がい児者などを対象として短期入所事業が行われてきたが、最近では、特に重度の方の受入れが制限されるといった状況がある。さらに、関係団体からは、重症心身障がい児者が利用できる事業所の増設についてのご要望も伺っている。「当事者目線の障がい福祉」を目指すというならば、障がい者が抱えている具体的な困難や課題を解消していくことが何よりも重要である。重症心身障がい児者についても同様に、実効性のある取組が求められている。県では、総合療育相談センターを含めた重症心身障がい児者のための短期入所事業について、どのように進めていこうと考えているのか、所見を伺いたい。



【知事答弁】

藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町2市1町の湘南東部障がい保健福祉圏域では、重症心身障がいの子どもの受け入れる短期入所事業所は、県立総合療育相談センターのみ。県内全体においても、重症心身障がい児・者のための短期入所は不足しており、引き続き、医療機関などに短期入所事業所の開設を働きかけていく。また、比較的軽度な障がい者を対象としている短期入所事業所に対しては、県が、市町村とともに、看護職員の配置を支援するなどして、重症心身障がい児・者の受入れが可能となるよう、取り組んでいく。

一方、県立総合療育相談センターの短期入所事業は、医療・看護の体制確保が困難なことや、設備の老朽化が進んでいることから、重度の方の受入れが難しい状況にある。受入れできなかった方については、丁寧に対応しつつ、センターの医療・看護体制の確保をはじめとして、庁内で議論を重ねてきた。今後、当事者を中心に、学識者、市町村など関係者から、意見を直ちに伺ってできるだけ速やかに方向性を決めていきたい。

【意見・要望】なぜ、もっと早く検討を進めることができなかったのか、県立施設としての意義を忘れず、当事者目線の障がい福祉の実現とは何かを念頭に、障がい者や家族が抱えている困難や課題を解消していく事が何よりも重要。条例で理念を語るより、実効性ある取組を。

県立スポーツセンターを活用したスポーツ振興について

センターの認知度を上げるためには情報発信が重要。検索しやすい形での発信に向け更なる工夫を

私の地元藤沢市にある県立スポーツセンターは、令和2年にリニューアルされ、市町村の施設では対応が困難なボクシングなどの専門競技フロアを備え、また全館バリアフリーでパラスポーツの競技などにも対応した総合運動施設である。コロナ禍の影響により、これまであまり周知することができなかった県立スポーツセンターだが、その特徴である専門競技やパラスポーツに対応した各施設・設備を多くの方に知っていただき、積極的に利用していただくことが今後の課題であり、ひいては県民の健康で豊かな生活に寄与するものと考えている。多くの県民に県立スポーツセンターの特徴をお伝えし、利用していただくことが重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか、見解を伺いたい。



【スポーツ局長答弁】

夏に開催を予定している東京2020大会1周年記念イベントでスポーツセンターを一般公開し、多くの方に訪れていただき、その特色をお伝えする。また、11月に開催される「ねんりんピックかながわ2022」では、ゲートボールとソフトバレーボールの会場となるので、多くの皆様に足を運んでいただきたい。

さらに、スポーツセンターの特徴であるバリアフリー対応については、東京2020大会に向けて競技種目や障がいの特性が多岐にわたるポルトガル・パラリンピック選手団を事前合宿で受け入れ、「大変使いやすい」との評価をいただいたことを添えて、障がい者スポーツの競技団体等に利用を呼びかけていく。また、ボクシングなどの専用施設を常設している公の施設は県内でも唯一であることから、関係する競技団体等に確実に周知し、強化練習や大会の開催に積極的に活用していただけるよう働きかける。コロナ対策を講じながら、スポーツセンターを県民の皆様が大いに活用していただけるよう、しっかりと取り組んでいく。

そのほかの質問項目

- *新型コロナウイルス感染症の下水疫学調査について
- *県庁における女性職員の活躍推進について
- *ねんりんピックかながわ2022の機運醸成について
- *県民の人権意識の醸成について
- *公立小・中学校における特別支援教育の推進について



録画映像



民主主義を止めるな！ 女性の声で政治を変える！

先の参議院選挙で、立憲民主党は神奈川選挙区で水野もとこさんが当選を果たすも議席を減らす結果に。しかしながら、公認の女性当選者比率53%で、国政におけるジェンダー平等推進をリードしてきました。改憲をストップさせる、エネルギー政策の見直しなど課題は山積です。これからも皆さまと更に活動を進めてまいります。

立憲民主党・民権クラブ 県議団

神奈川県議会議員

脇 れい子

【経歴】

辻堂生まれ 高砂小 湘洋中
県立平塚江南高校
日本女子大学文学部卒
藤沢市議会議員2期

【所属委員会】

防災警察常任委員会
共生社会推進特別委

皆さまからのご意見・ご相談をお寄せください。
立憲民主党・民権クラブ脇れい子藤沢市政務活動事務所
〒251-0026 藤沢市鵜沼東4-6藤沢奥田ビル203
<http://wakireiko.jp>

TEL : 0466-90-4737

FAX : 0466-90-4740

E-mail wakireiko.office@gmail.com

